



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 放電精密加工研究所
コード番号 6469 URL <http://www.hsk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二村 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 大村 亮

TEL 046-250-3951

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	7,009	△5.1	△119	—	△147	—	△56	—
27年2月期第3四半期	7,387	7.3	391	△27.1	449	6.8	305	△2.7

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △136百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 361百万円 (△6.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△7.79	—
27年2月期第3四半期	42.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	15,271	6,628	43.4	915.19
27年2月期	16,656	6,932	41.6	957.12

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 6,628百万円 27年2月期 6,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 2月期の連結業績予想(平成27年 3月 1日～平成28年 2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,901	△1.2	125	△78.2	83	△86.8	77	△82.9	10.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年1月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	7,407,800 株	27年2月期	7,407,800 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	165,273 株	27年2月期	165,231 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	7,242,532 株	27年2月期3Q	7,217,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年11月30日）におけるわが国経済は、円安、株高を背景に輸出型企業や大企業を中心に業績は回復してきたものの、円安による輸入原材料価格の上昇、中国やその他新興国の景気減速や米国の金融政策の影響が懸念され、依然として国内全体での景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当連結会計期間における当社グループを取り巻く業界動向は、自動車関連は前期に引き続き好調を維持いたしましたが、住宅・エネルギー関連は低調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、得意先への取引深耕に努める一方、経費の見直しや更なる生産効率の向上、及び競争力の強化を目指して経営の効率化に全力で取り組み、あらゆる角度から利益創出に向けた対策を実行いたしました。

平成26年9月に航空機エンジン部品の一貫生産工場として新設いたしました小牧事業所は、エンドユーザーである航空エンジンメーカーの各種認証も順調に取得することができ、来期後半の本格生産に向けて平成27年8月より生産を開始いたしました。さらにこれとは別の航空機エンジン部品の一貫生産も決定し、その準備もスタートいたしました。

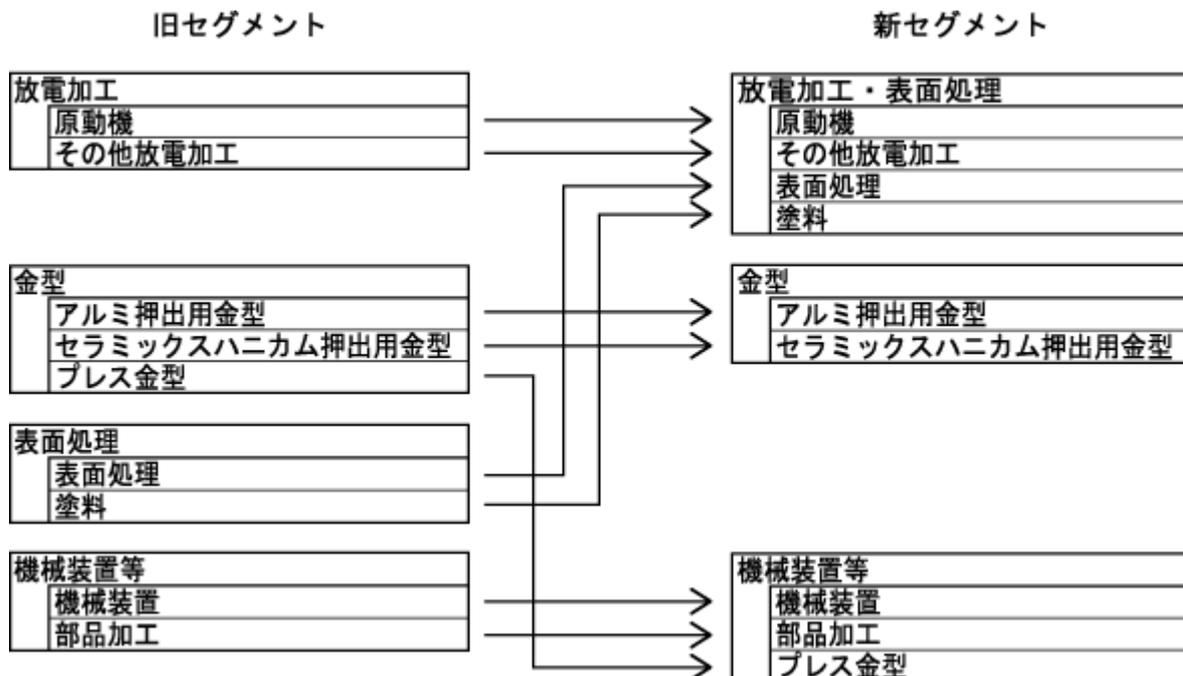
これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は7,009百万円（前年同期比5.1%減）となり、以下の段階利益では、売上高の減少、及び航空機エンジン部品事業に係る先行費用を617百万円を計上したことなどから営業損失として119百万円（前年同期は391百万円の営業利益）、経常損失として147百万円（前年同期は449百万円の経常利益）、四半期純損失として56百万円（前年同期は305百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

（セグメントの変更）

当社は、昨今の受注形態が複数のセグメントを横断する前後工程を含めた一貫加工での受注を進めており、小牧事業所で準備を行なっております航空機エンジン部品事業もその1つであります。また、金型に含めておりましたプレス金型については、デジタルサーボプレス機の製造販売を担っている機械装置等セグメントとの協業を進めておりますことなどから今後の事業展開を鑑み、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントの区分を以下の通り、変更いたしました。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。



各セグメントの営業損益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

① 放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、新規事業の航空機エンジン部品の一部生産がスタートしたことにより売上高が微増となりましたが、主力製品であります産業用ガスタービン部品加工、従来から行っております航空機エンジン部品加工やエネルギー関連部品加工などが減少したことから、放電加工・表面処理全体では前年同期に比べ、売上高が減少いたしました。営業利益は、前期に発生した高難度アイテムの原価高、及び新規アイテムの立上費用などが今期は解消いたしました。新規事業の航空機エンジン部品の一貫生産がスタートし、先行費用を計上したことから、前年同期と比べ、減益となりました。

その結果、売上高は3,149百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失は4百万円（前年同期は198百万円の営業利益）となりました。

② 金型

金型は、自動車排気ガス浄化用のセラミックスハニカム押出用金型は受注が増加しましたが、アイテムと生産体制のアンバランスにより生産が一時的に停滞したこと、また、アルミ押出用金型の住宅サッシ関連金型の売上高が減少したことなどにより、前年同期に比べ売上高が減少いたしました。営業利益は、売上高の減少等により、前年同期と比べ、減益となりました。

その結果、売上高は2,413百万円（前年同期比13.6%減）、営業利益は478百万円（同30.0%減）となりました。

③ 機械装置等

機械装置等は、プレス部品加工の自動車関連部品が順調に推移いたしましたことから、機械装置等全体では前年同期と比べ、売上高が増加いたしました。営業利益は、売上高の増加などにより、前年同期と比べ、増益となりました。

その結果、売上高は1,446百万円（同8.1%増）、営業利益は236百万円（同1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,420百万円減少し、5,170百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加132百万円、受取手形及び売掛金の減少1,271百万円、その他に含まれる未収入金の減少417百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、10,101百万円となりました。その主な要因は、新工場完成等による建設仮勘定の減少442百万円、建物及び構築物の増加266百万円、機械装置及び運搬具の増加102百万円、無形固定資産のリース資産の増加304百万円、投資有価証券の減少135百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,187百万円減少し、3,410百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少124百万円、短期借入金の減少2,070百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,105百万円増加し、5,232百万円となりました。その主な要因は長期借入金の増加804百万円、リース債務の増加295百万円、長期未払金の減少50百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、6,628百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少223百万円、その他有価証券評価差額金の減少28百万円、為替換算調整勘定の減少48百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期業績予想につきましては、平成27年4月7日に公表いたしました通期業績予想の修正をしております。詳細につきましては、平成28年1月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が33,171千円増加し、利益剰余金が22,476千円減少しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,782	1,147,772
受取手形及び売掛金	4,302,299	3,030,932
電子記録債権	—	524
商品及び製品	30,116	44,028
仕掛品	388,488	509,322
原材料及び貯蔵品	200,956	206,547
繰延税金資産	108,264	147,488
その他	547,003	84,534
貸倒引当金	△984	△662
流動資産合計	6,590,926	5,170,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,725,159	2,991,294
機械装置及び運搬具(純額)	2,173,781	2,276,476
土地	2,809,434	2,793,698
リース資産(純額)	196,262	212,983
建設仮勘定	516,331	73,975
その他(純額)	98,363	101,230
有形固定資産合計	8,519,333	8,449,659
無形固定資産		
ソフトウェア	51,662	63,558
リース資産(純額)	—	304,907
その他	109,327	9,797
無形固定資産合計	160,990	378,263
投資その他の資産		
投資有価証券	772,830	637,667
繰延税金資産	484,743	511,554
その他	147,657	143,810
貸倒引当金	△19,560	△19,546
投資その他の資産合計	1,385,671	1,273,485
固定資産合計	10,065,994	10,101,408
資産合計	16,656,921	15,271,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,089,842	964,900
短期借入金	3,534,000	1,464,000
リース債務	57,592	88,475
未払法人税等	41,519	—
賞与引当金	217,440	123,606
その他	657,391	769,651
流動負債合計	5,597,786	3,410,633
固定負債		
長期借入金	2,880,000	3,684,500
長期未払金	108,612	58,612
リース債務	138,670	434,558
デリバティブ債務	61,996	58,687

退職給付に係る負債	907,212	965,637
資産除去債務	30,623	30,995
固定負債合計	4,127,113	5,232,991
負債合計	9,724,900	8,643,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,190	889,190
資本剰余金	778,642	778,642
利益剰余金	5,286,494	5,062,751
自己株式	△110,847	△110,883
株主資本合計	6,843,479	6,619,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,628	65,958
繰延ヘッジ損益	△39,938	△39,766
為替換算調整勘定	56,006	7,642
退職給付に係る調整累計額	△22,155	△25,263
その他の包括利益累計額合計	88,541	8,571
純資産合計	6,932,020	6,628,271
負債純資産合計	16,656,921	15,271,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	7,387,702	7,009,379
売上原価	5,491,102	5,306,123
売上総利益	1,896,599	1,703,256
販売費及び一般管理費		
運搬費	57,140	55,385
給料	612,883	582,965
賞与引当金繰入額	34,690	32,375
退職給付費用	32,068	30,277
旅費及び交通費	70,504	71,959
減価償却費	97,263	74,162
研究開発費	77,646	472,594
その他	522,603	503,168
販売費及び一般管理費合計	1,504,801	1,822,888
営業利益又は営業損失(△)	391,798	△119,631
営業外収益		
受取利息	175	310
受取配当金	2,871	3,790
受取割引料	2,872	2,782
受取賃貸料	10,814	8,980
受取保険金	1,528	1,295
持分法による投資利益	61,238	—
その他	5,654	5,307
営業外収益合計	85,154	22,466
営業外費用		
支払利息	21,305	40,911
賃貸費用	4,686	3,844
シンジケートローン手数料	1,128	1,076
為替差損	318	1,182
持分法による投資損失	—	3,143
その他	457	41
営業外費用合計	27,897	50,200
経常利益又は経常損失(△)	449,055	△147,365
特別利益		
新株予約権戻入益	24,628	—
固定資産売却益	27	335
投資有価証券売却益	—	1,023
補助金収入	—	102,548
特別利益合計	24,656	103,906
特別損失		
固定資産売却損	—	12,729
固定資産除却損	2,669	2,122
特別損失合計	2,669	14,852
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	471,042	△58,311
法人税、住民税及び事業税	165,227	△1,563
法人税等調整額	18	△333
法人税等合計	165,245	△1,896

少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	305,797	△56,414
四半期純利益又は四半期純損失(△)	305,797	△56,414

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	305,797	△56,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,117	△28,670
繰延ヘッジ損益	—	171
退職給付に係る調整額	—	△3,108
持分法適用会社に対する持分相当額	28,023	△48,364
その他の包括利益合計	56,140	△79,970
四半期包括利益	361,937	△136,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,937	△136,385
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	3,255,542	2,794,169	1,337,990	7,387,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,866	9,079	28,709	54,655
計	3,272,408	2,803,249	1,366,699	7,442,357
セグメント利益	198,432	683,175	232,944	1,114,553

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,114,553
全社費用(注)	722,754
四半期連結損益計算書の営業利益	391,798

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	3,149,488	2,413,828	1,446,062	7,009,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,390	5,667	35,722	56,780
計	3,164,878	2,419,495	1,481,785	7,066,160
セグメント利益又は損失(△)	△4,016	478,296	236,253	710,533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	710,533
全社費用(注)	830,164
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△119,631

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、今後の事業展開を鑑み事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「放電加工」「金型」「表面処理」「機械装置等」から、「放電加工・表面処理」「金型」「機械装置等」に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第3四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違がみられます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

前第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (平成26年3月1日～11月30日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,312,236	98.8
金型	2,715,182	112.5
機械装置等	1,469,937	104.4
合計	7,497,356	104.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(平成27年3月1日～11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (平成27年3月1日～11月30日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,107,216	93.8
金型	2,348,479	86.5
機械装置等	1,727,480	117.5
合計	7,183,175	95.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

前第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (平成26年3月1日～11月30日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,318,942	96.1
金型	2,729,043	110.8
機械装置等	1,713,297	131.9
合計	7,761,284	107.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(平成27年3月1日～11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (平成27年3月1日～11月30日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,057,288	92.1
金型	2,591,406	95.0
機械装置等	1,418,033	82.8
合計	7,066,728	91.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

前第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (平成26年3月1日～11月30日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,255,542	97.5
金型	2,794,169	117.0
機械装置等	1,337,990	115.7
合計	7,387,702	107.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(平成27年3月1日～11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (平成27年3月1日～11月30日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,149,488	96.7
金型	2,413,828	86.4
機械装置等	1,446,062	108.1
合計	7,009,379	94.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。